

I - (03) 令和6年度 横浜市立茅ヶ崎小学校 豊かな心の育成推進プラン

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
<p>豊かなふれあいを大切にしながら、一人ひとりが安心して笑顔で過ごせる学校づくりに努めます。</p> <p>○一人ひとりが自分の考えをもち、伝え合うことを通して、学び合う楽しさを実感できる授業づくりを推進します。</p> <p>○様々なかわりあいの中で育つ自己肯定感や自己有用感を基本にした、豊かな人間関係力の構築を図ります。</p> <p>○地域の人々、自然、施設などに積極的に関わる「体験学習」を通して、地域協働教育の充実を図ります。</p> <p>○教職員の連携を促進し、学校教育目標の実現に向けて活力ある組織的な取り組みを行います。</p> <p>○働き方に対する教職員の意識を改革し、持続可能な勤務ができるような取り組みを行います。</p>	

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野		取組目標	具体的取組
豊かな心		一人ひとりが大切にされ、友達や仲間と共に活動する楽しさを個々に応じた形で味わうことを通して自信を深め、自分の思いをもてる子を育てます。	①人権週間の取組発信などを通して、人権を意識して行動できる機会を設けていく。 ②なかよし活動による異学年交流をより充実させ、相手を思いやる心を育てる。 ③子ども会議のねらいや目的を中学校ブロックで共有し、全校に落とし込めるような取組を行う。
担当	豊かな心の育成グループ		

2 児童(生徒)の実態(「豊かな心の育成」にかかわる課題)

<p>○落ち着いた地域で概ね安定した状況で生活している児童が多い。 ○地域、家庭の協力も得やすい。 ○学校ボランティアも多い。</p> <p>○学校の裏に茅ヶ崎公園が広がっており、その動植物とのふれあい、働く人との関わりがもちやすい。</p> <p>○穏やかで素直な児童が多いが、コミュニケーションに課題が多い(自分を表現できない、他者への関心が薄い、相手の思いに気づかないなど)。</p> <p>○自分が怒られていなくても「怖い」と感じるなど、繊細な児童が増えている。</p>

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

<p>指針1 「道徳の時間」の充実</p> <p>・道徳教育推進教師を中心とした、推進体制の充実。 ・話し合い活動を重視した、道徳の時間の指導の充実。</p> <p>・各教科等の指導における道徳教育の指導の充実。 ・道徳的価値について自ら考えるきっかけとなるよう教科書を積極的に活用する。</p>

<p>指針2 体験活動の充実</p> <p>・なかよし活動、遠足、宿泊行事など様々な活動において、それぞれに役割をもたせることで、個々に達成感が得られるよう工夫し、自尊感情や自己有用感を育む。</p> <p>・小学校の学びを見通した上で活動のねらいを設定し、校外の豊かな自然と人に触れる学習活動を充実させる。幼保小の交流を充実させる。</p> <p>・日常の学級経営の中で清掃などの当番活動や主体的な係活動を充実させ、自分の役割や働くことの意義についての基盤を形成する。</p>
--

<p>指針3 確かな人権感覚・意識の育成</p> <p>・子どもや職員の不適切な言動や振舞いについて敏感にキャッチすることができるように、アンテナを高く張り、大人が子どもの手本となるよう努める。</p> <p>また、日頃から人権教育に視点をおいた各教科・領域での授業実践、異学年交流・地域の方々とのふれあいを通しての児童の人権意識の高揚、コミュニケーション能力の伸長をめざした取組を推進する。</p>
